納所（のうそ）ため池の改修工事による決壊被害の防止

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

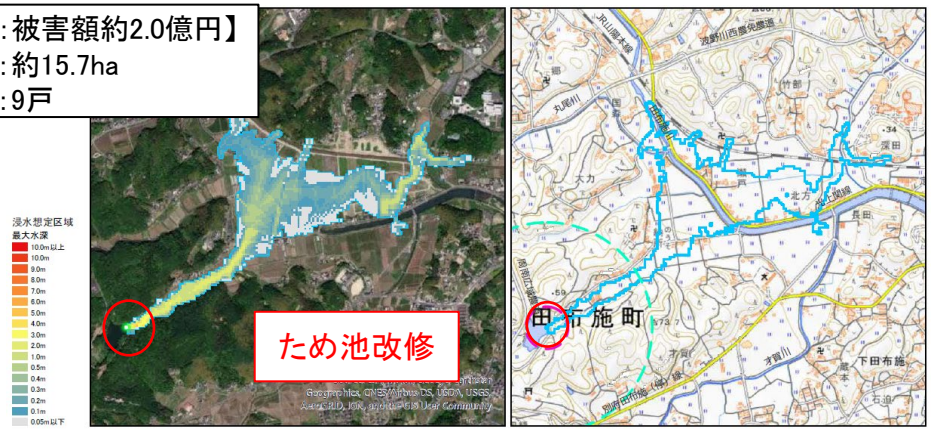
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：防災重点農業用ため池の堤体及び洪水吐の改修により、令和8年6月24日からの大雨において総降水量354mmを観測したものの、ため池の決壊は生じず、下流域の農地や住宅への浸水被害を防止した。
対 策 名：2 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

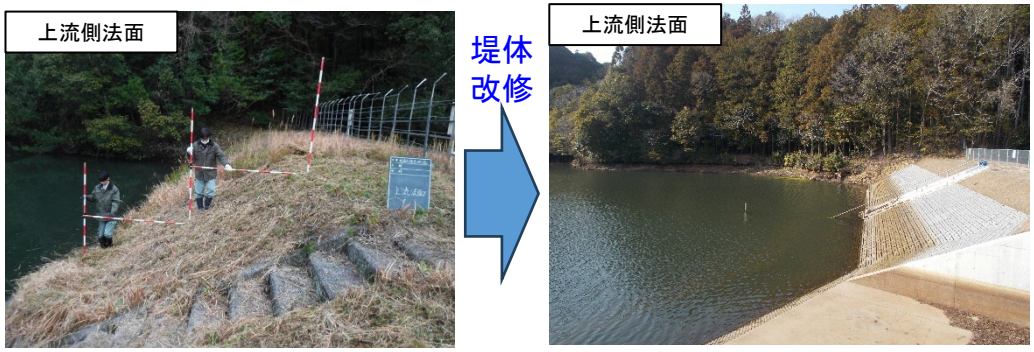
- 実施主体：山口県
- 実施場所：山口県熊毛郡（くまげ）田布施町（たぶせちょう）
- 事業概要：決壊による被害を未然に防止するために、納所ため池の洪水吐の流下能力の向上と堤体の改修を実施。
- 事業費：1.6億円（令和5年度）
  （うち5か年加速化対策（加速化・深化分）0.8億円）
- 災害の外力、被害と効果：
  令和8年6月24日から26日にかけて、田布施町では記録的な大雨となる総降水量354mm（柳井（やない）観測所）を記録したものの、改修したため池は洪水吐の流下能力が大幅に強化されたため、ため池の決壊を防ぎ、ため池下流の農地や住宅への被害を防止した。

決壊が生じた場合の想定被害区域

【被害想定：被害額約2.0億円】
・浸水面積：約15.7ha
・浸水家屋：9戸



堤体改修による安全性の確保



洪水吐改修による流下能力の確保



被害低減効果

ため池改修により、決壊した場合に想定される被害（想定被害額約2.0億円※）の発生を防止

※想定被害範囲内の農地・農業用施設、家屋への被害額を推計

